

研究概要報告書【音楽振興部門】

(/)

研究題目	インターアクティブな演奏会で楽しもう、子供にとっての 20-21 世紀音楽	報告書作成者	大島路子
研究従事者	大類朋美 大島路子 ほか		
研究目的	<p>1. 若い世代が現代曲への偏見を持つ前に、自分に近い時代の音楽に親しんでもらう。また、音楽を聴いたり、一緒に演奏したり、普段の生活の出来事や感情と結びつけたりすることにより、音楽の創造性に気づく機会を提供する。</p> <p>2. 子供たちが、歴史(文化史、社会史を含む)について考えるきっかけを得る。</p> <p>3. 友人や家族と一緒に聴くことにより、家庭や学校にこの経験を持ち帰り、「面白い」音楽についての共通経験を、違う音楽や他芸術への関心につなげていく。</p>		

研究概要報告書【音楽振興部門】

(/)

<p>研究内容</p>	<p>近代音楽を中心に、小学校へ赴く訪問コンサートおよび、 家族など幅広い層を対象とした、特別演奏会(ワークショップつき)を行った。</p> <p>小学校訪問コンサート(各回とも45分～60分のプログラム 計8回)</p> <p>平成25年 10月30日 高津小学校 10月16日、23日 宮前平小学校 11月1日、25日 東生田小学校 11月27日、12月8日 上丸子小学校</p> <p>平成26年 2月25日 古市場小学校</p> <p>特別演奏会とワークショップ「こどもと聴こう20世紀音楽」 平成26年 1月18日 ミューザ川崎 市民交流室</p>

研究概要報告書【音楽振興部門】

(/)

<p>研究のポイント</p>	<p>一方的な語りかけ/聴かせ方でだけでなく、インターラクティブ(双方向)なコミュニケーションの方法をさがす ～木琴や鉄琴でバルトークの使った音の組み合わせを練習させ、コンサートで実演 ～ウェーベルンの弦楽三重奏(演奏時間約3分)を聴いた印象をそれぞれ描き、お互いに発表する ～十二音技法での作曲を体験してもらうため、子供に音名カードを選んで実際の「作曲」作業してもらったものを、演奏家が弾いてみる ～コーブランドの作曲法を身近に感じてもらうため、馴染みのあるメロディーを高低の入れ替え、リズムの遊びなどで変奏してみせる ～作曲家の個性、民族性は、どんな音やリズムの組み合わせから生まれるのか、木琴・鉄琴で音を出してみる ～委嘱作品(マジック・ミュージック)を使って、リズムやメロディーの即興を行う</p>
<p>研究結果</p>	<p>① あらかじめ方法(ルール、枠組み)をはっきり提示することにより、子供達はリズム楽器、木琴や鉄琴を使って、音楽に参加することを楽しめる。大人でも初めは難しいと思ってしまう「即興演奏」も、順番や使う音列、タイミングのアイデア、現したい気持ちなどを組み合わせることによって、子供は自分の中の創造性を発見する喜びと共に、「音楽の会話」として仲間との演奏を楽しむ事ができた。</p> <p>② 「演奏後に絵を描く」という課題が出たときに、感じたことを視覚的に現すために子供達はどのような聴き方をするのか? - ウェーベルンの音楽を「戦争」「ウィーン」「20世紀前半」というキーワードと結びつけたイメージにあらわす子供がいる一方、聴こえてきた音のイメージそのものを、抽象画、模様、色合い、生活の一場面、想像の一場面として克明に描く子供も多かった。またそのイメージの受け止められ方も、コミカルなもの、悲劇的なもの、ファンタジーに富んだもの、現実的なものと実に様々だった。「難解」とされる音楽が、若い柔軟な感受性に少しのヒントさえ提供すれば、実に細やかで奥の深い音楽性を人の心に届けられるという実証例となった。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>小学校での訪問演奏の集大成として行った特別演奏会では、「現代音楽」という触れ込みが、来て欲しい客層へ「面白そう」という興味へつながらず、集客に苦勞した。来年度は「リトルクラシック in かわさき」としてウェブサイトをつくり、普段の活動を幅広い聴衆へのパイプ(学校関係、音楽関係、自治体の文化振興課)となる機関に知らせていく予定である。また、訪問コンサート後の学校とのより緊密な連絡(リマインダー)をとり、継続した関係を目指す。</p> <p>数校での訪問コンサートおよび、特別コンサートの前に、5～8人の希望(学校によっては選抜)者を対象にワークショップをした。共演する際の子供達側のリーダーになってもらったり、代表で前に出て木琴や鉄琴を演奏してもらった。当初は歌でも参加してもらえよう練習を試みたが、譜面をよむ、覚えることは、短いものでも子供にとっては難題な上、人前で歌うのは更に気恥ずかしいものだと分かった。今後は、よりシンプルで、即興性の利く参加方法を増やしていく必要がある。</p>

プログラム例 学校訪問コンサート(対象 小学校5年生)

第一回

楽器紹介(ヴァイオリン:日本の民謡、ヴィオラ:バルトーク ルーマニア民族舞踊より チェロ:サンサーンス 白鳥)

トゥリーナ ピアノ四重奏曲より第一楽章

コーブランド ピアノ四重奏曲より第二楽章

バルトーク 44のデュオより

第二回

モーツァルト ピアノ四重奏曲ト短調より第一楽章

ウェーベルン 弦楽三重奏曲作品20より 第一楽章

加藤泰徳 マジック・ミュージック

特別コンサート「こどもと聴こう 20世紀音楽」(平成26年1月18日) プログラム

トゥリーナ ピアノ四重奏曲(1938)

コーブランド ピアノ四重奏曲(1950)

バルトーク 44のデュオより(1931)

武満 徹 雨の樹 素描(1982)

ウェーベルン 弦楽三重奏曲作品20(1921)

加藤泰徳 マジック・ミュージック(2013)

(注:写真, データ, グラフ等 研究内容の補足説明にご使用下さい。)